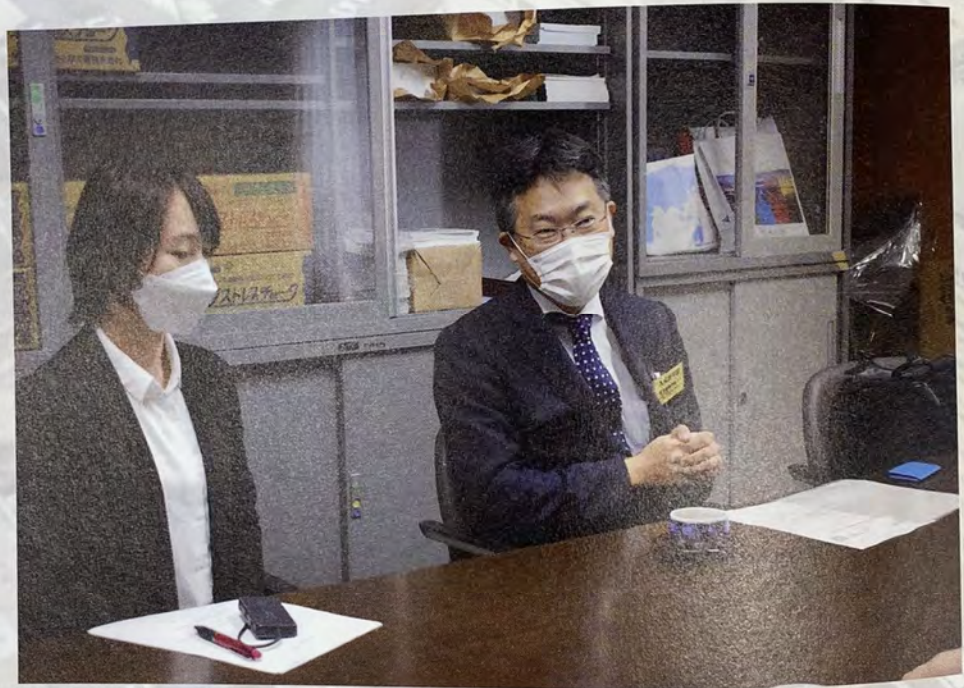


具体的内容に避けて欲しい内容等が記入された打ち合わせ資料を講義する専門医師に送り、内容を確認した医師から学校担当者へメールにて連絡して進められて行く。

今回、このコーナー「人生100年時代を生きる」において執筆をお願いしてご協力頂いている武田教授の讲義が行われることを聞き、高田高校・乾修司校長先生の許可を得て取材した。



乾校長と武田教授



打ち合わせ風景

### 講座を受ける対象者によって言葉は変えて

「細胞は日々、我々の体の中で一定数として5000個ほどの変異細胞を持っているといわれています。因子として①飲酒②喫煙③加齢④不明によるもの、生活習慣や遺伝子的原因や老化によるものがあります。また、がんの発がんに関係する原因としては、ウイルスや細菌の感染があげられ、男性では喫煙について2番目に、女性では最も発がんに大きく関係する原因となっています。発がんに大きく関係するウイルスや細菌としては、子宮頸がんの発がんに関係するヒトパピローマウイルス（HPV）があります。小学校6年生から高校1年生を対象にHPVワクチン接種もありますが、ワクチンのリスク（副反応）もあることを忘れてはなりません。ATL（成人T細胞白血病）と関連するヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）、胃がんと関連するヘリコバクター・ピロリ等があります」と、スライドに沿って解説。

その後「がんになるリスクは減らすことが出来るのか」と、がんの予防を色々な観点より講義し、現時点の治療